

2021年3月期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社
取締役 専務執行役員 CFO

2021年4月27日



本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

1. 事業概要
2. 2021年3月期 連結決算概要
3. 2022年3月期 通期業績予想（連結）

1. 事業概要

T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展



- ▶ モバイル市場 : 5G、5G利活用
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : データセンター、光NW、無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 基地局建設保守、電子部品、無線設備

PQA事業

食の安全・安心



- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機

その他



- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス

(セグメント別売上比率) 2021年3月期 実績 (連結) : 1,059億円

T&M 71%			PQA 20%	その他 9%
モバイル 59%	ネットワーク・インフラ 25%	エレクトロニクス 16%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 18%	アジア他 47%	米州 23%	EMEA 12%
-----------	-------------	-----------	-------------

T&M : Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

2-1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比 売上微減も増益を確保

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	1,077	1,076	△ 1	△ 0%
売上高	1,070	1,059	△ 11	△ 1%
営業利益	174	197	23	13%
税引前利益	172	198	26	15%
当期利益	134	161	27	20%
当期包括利益	119	199	80	66%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入 (前年同期比増減額を除く)

2-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

▶ T&M : 5G製品の比率が上がり増益を確保

▶ PQA : 減収も営業利益は前年同期比同水準を確保

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	752	748	△ 4	△ 0%
	営業利益	151	177	26	17%
PQA	売上高	226	214	△ 12	△ 5%
	営業利益	13	13	0	4%
その他	売上高	93	97	4	5%
	営業利益	19	18	△ 1	△ 5%
調整額	営業利益	△ 9	△ 12	△ 3	-
合計	売上高	1,070	1,059	△ 11	△ 1%
	営業利益	174	197	23	13%

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

T&M : Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

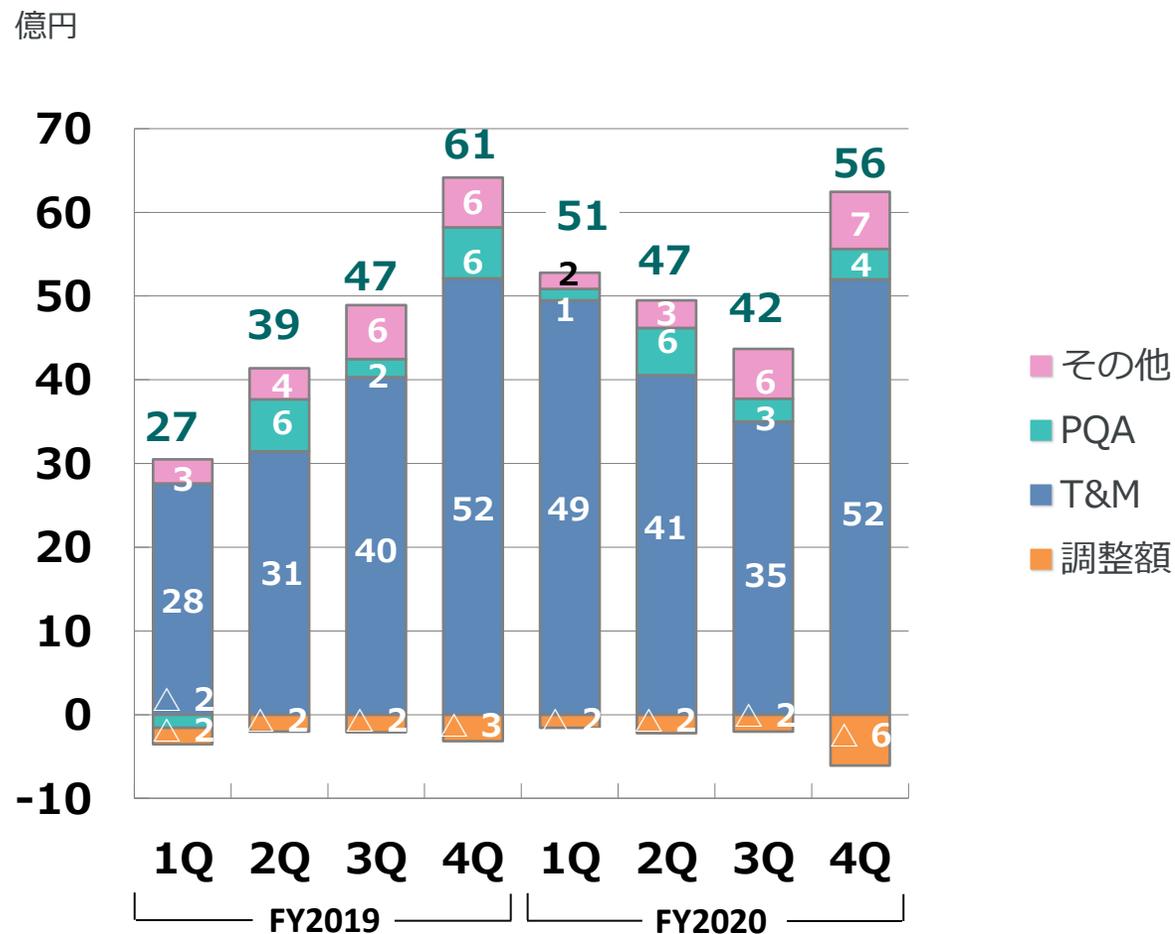
2-3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 4Q(1-3月)営業利益率：連結19%，T&M25%，PQA 6%



売上高

(注) 値はそれぞれで四捨五入



営業利益

- その他
- PQA
- T&M
- 調整額

セグメント 2021年3月期（4月-3月）の状況	
<p> T&M : 5G商用化スケジュールおよびデータセンター高速化が順調に進展</p>	
モバイル	5G開発の需要が順調に推移
ネットワーク インフラ	データセンター等への投資が順調に推移
アジア他・日本	5G商用化に向けた投資拡大 日本は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で伸び悩み
アメリカ	5Gサービスの今後のエリア拡充に注視
<p> PQA : 食品市場では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う先行きの不透明感から一部の顧客が引き続き設備投資に慎重な姿勢</p>	

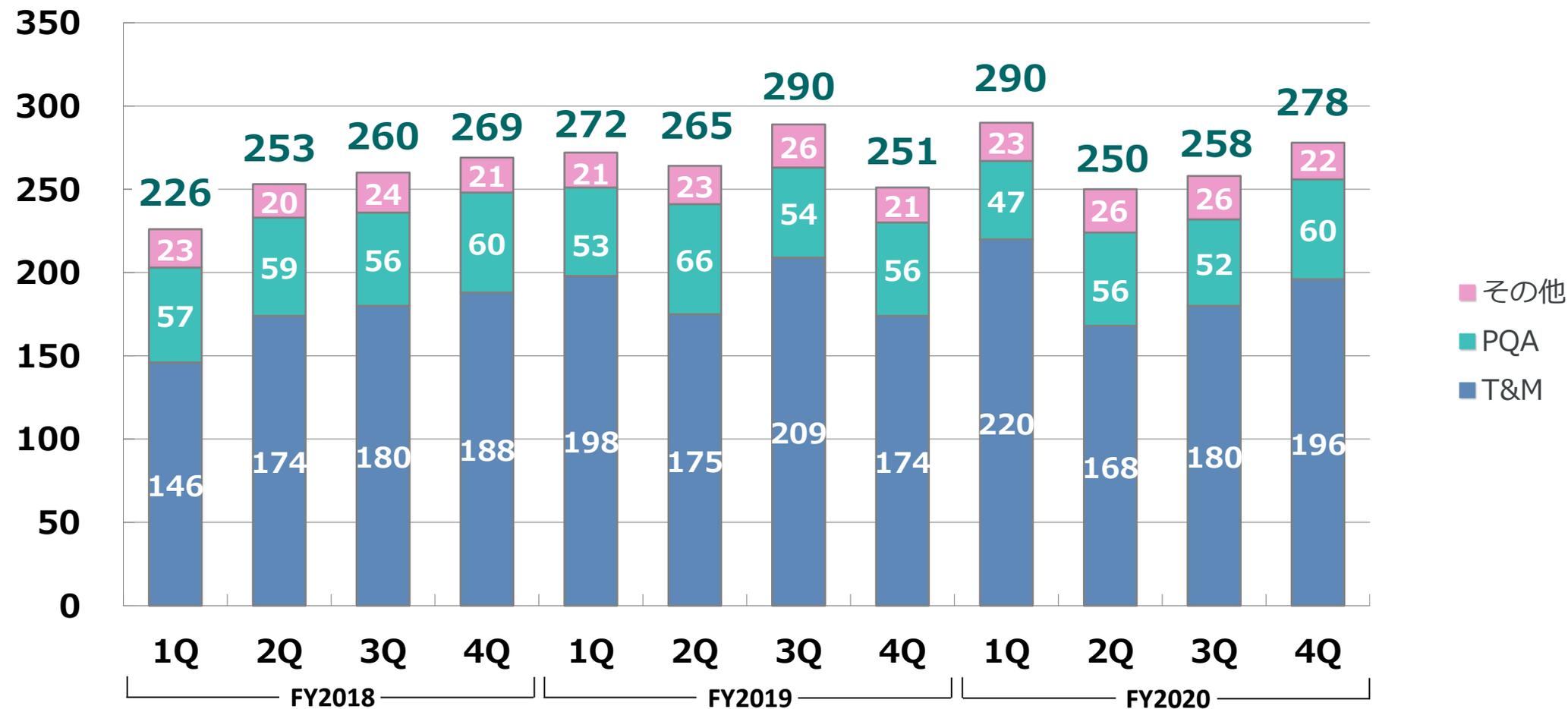
T&M : Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

2-5. 受注高推移

▶ T&M：前年同期比13%増、前四半期比9%増

▶ PQA：前年同期比7%増

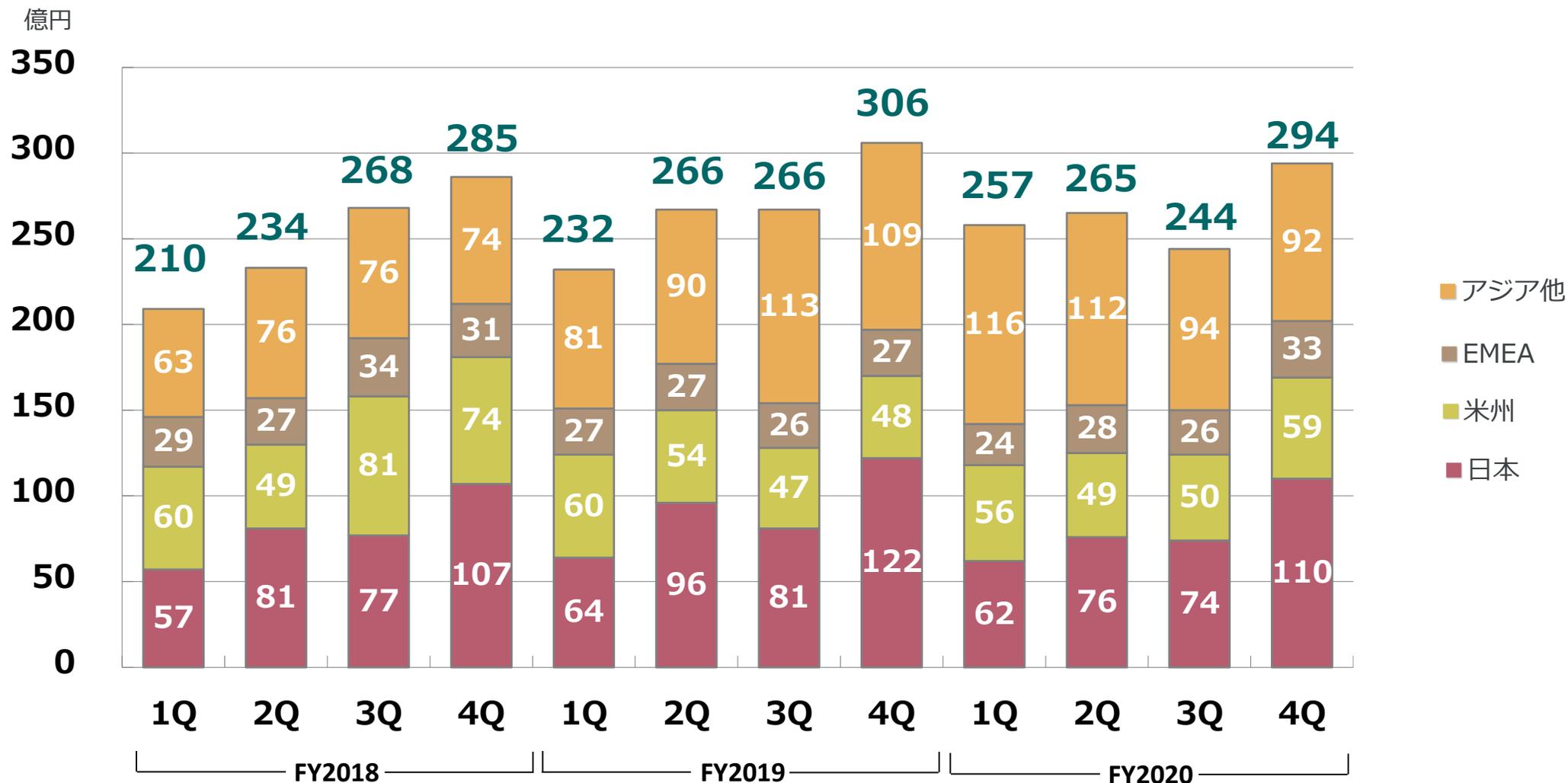
億円



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-6. 地域別売上高推移

▶ アジアで5G商用化、データセンター関連の需要は順調



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率19.3%

FY2020 (累計)

- ① 営業CF : 205億円
- ② 投資CF : △50億円
- ③ 財務CF : △145億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②) : 155億円

現金同等物期末残高

498億円

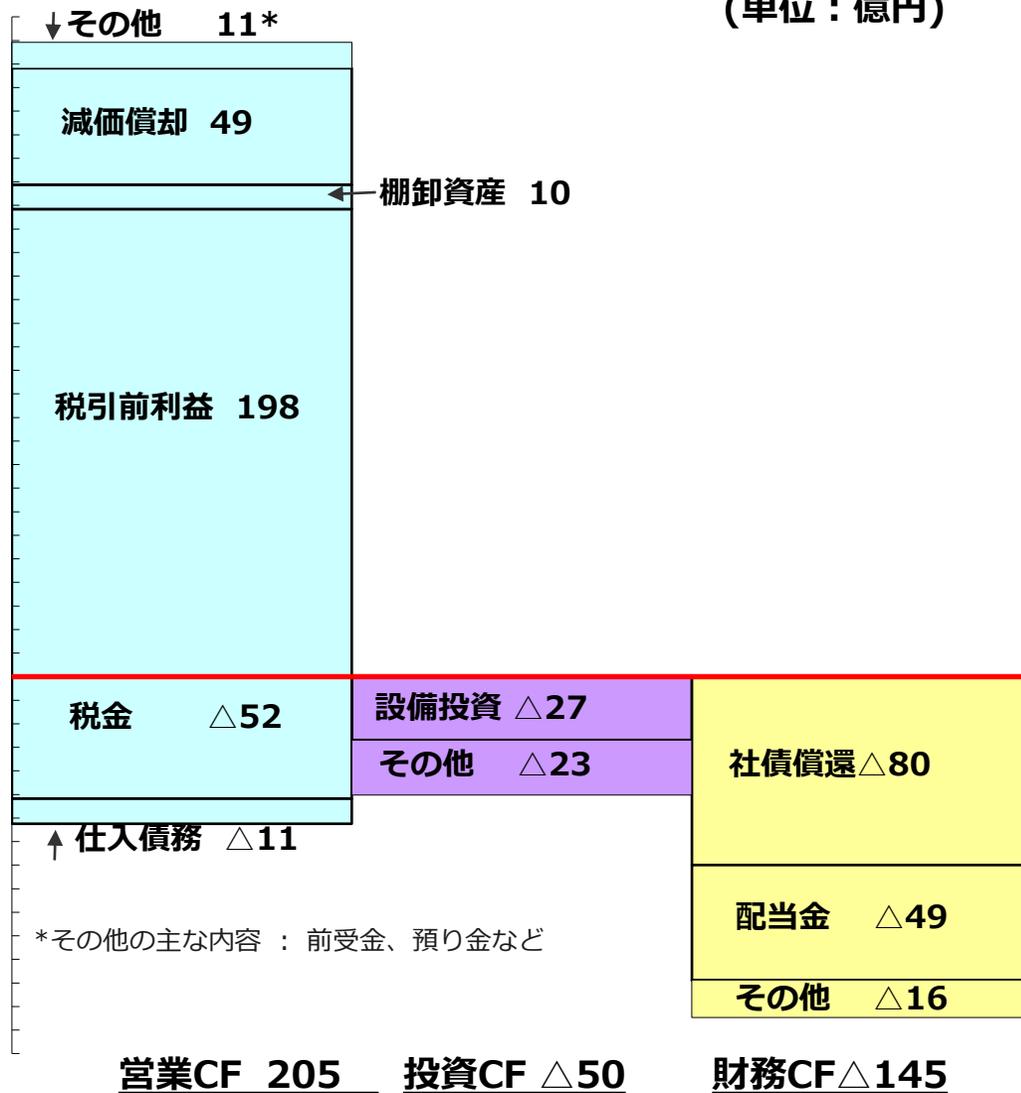
有利子負債高

58億円

(注) 値はそれぞれで四捨五入

内訳

(単位 : 億円)



3-1. 2022年3月期 通期業績予想（連結）

▶ 新型コロナウイルスの影響は残るが、5G関連需要の拡大を見込む

(単位：億円)

		2021/3期	2022/3期		
		前期実績	通期予想	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高		1,059	1,140	81	8%
営業利益		197	205	8	4%
税引前利益		198	205	7	3%
当期利益		161	162	1	0%
T&M	売上高	748	820	72	10%
	営業利益	177	185	8	4%
PQA	売上高	214	230	16	7%
	営業利益	13	18	5	34%
その他	売上高	97	90	△ 7	△ 7%
	営業利益	18	12	△ 6	△ 33%
調整額	営業利益	△ 12	△ 10	2	-

(参考) FY20 為替レート : 1米ドル106円、1ユーロ=123円
FY21 想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

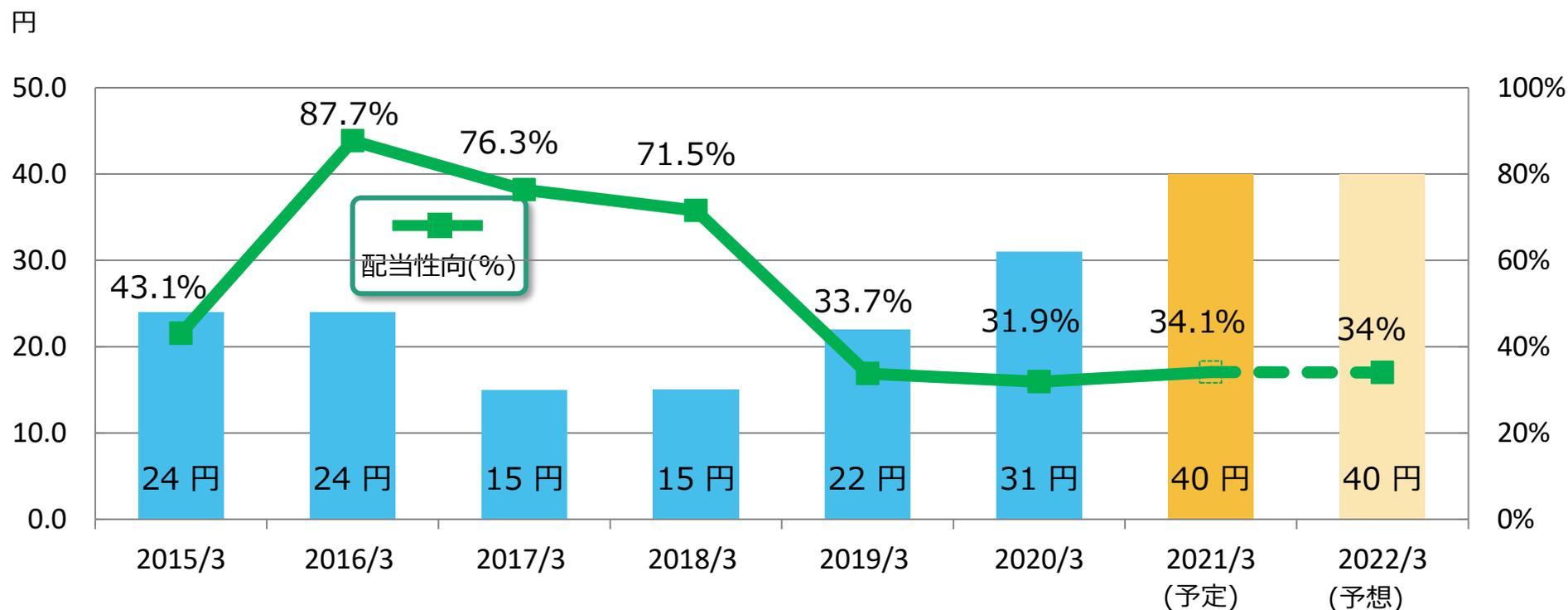
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前期比増減額を除く）

3-2. 配当予定、配当予想について

**FY2020
配当予定の修正**

37円 → 40円 (2021年3月期予定)
(中間配当15.5円、期末配当24.5円)

	年間配当	当期利益	配当性向	DOE	ROE
2021年3月期 (予定)	40円	161億円	34.1%	5.4%	15.8%
2022年3月期 (予想)	40円	162億円	34%	5%	14%



Anritsu
Advancing beyond

